PHONAK
フォナック
life is on

耳かけ型補聴器　セルティナ アート

Certéna Art M
Certéna Art P
Certéna Art SP

取扱説明書

CE 0459

■はじめに

この度はフォナック社の補聴器をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
また、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

■安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守り頂くことを下記のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を次のように区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示がある項目は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示がある項目は、「損害を負う可能性、または物的損傷のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容を次のように表示し、説明しています。

⃠ 禁止	この表示がある項目はしてはいけない「禁止」の内容です。

■ご使用にあたって

禁止

- 音量を大きくしすぎないで下さい。
- 騒がしいところでは音量を小さめにするか、長時間使用しないようにしてください。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないようにしてください。
- 補聴器は医療機器ですので、分解や改造はしないでください。
- レントゲン撮影、CT スキャン等の画像診断機器は補聴器に悪影響を及ぼします。これらの機器を用いた撮影を受ける前には補聴器を外し、撮影室の外に置くことをお勧めします。
  また MRI スキャンは強い磁力を用いますので、MRI 室に入る前には必ずお外し下さい。
- 過度の湿気や温度を避けて下さい。特に夏の時期、窓や車のフロントガラスの近くには置かないようにしてください。

・補聴器の内部に水が入ると故障する恐れがありますので、水にぬらさないで下さい。
（例：お風呂に入るときなど）
・電池は火中に投げ入れないでください。

⚠ 警告

ペットのそばや子どもの手の届くところに保管しないで下さい。万が一、誤って電池を飲み込んでしまった場合、ただちに医師にご相談ください。

⚠ 注意

- 指向性マイクロホンを搭載した機種は、主に背後から来る音を抑えます。そのため、装用者の背後から近づく車の音や背後で鳴るクラクション（警告音）が聞こえにくいことがあります。
- 補聴器を使用しない場合は電池を取り出してください。そして湿気を取り除くために電池ホルダーを開けたままの状態で乾燥ケースの中に保管してください。
- ご使用になるまでは電池のシールをはがさないでください。ご使用の際にシールをはがし、30 秒ほどお待ちになってからご使用ください。
- 使用済みの電池は、各自治体指定の方法により処分をしてください。
- 不要になった補聴器は、各自治体指定の方法により処分をしてください。
- 汗、湿気、皮脂、耳垢、整髪料などが補聴器内部に入ると故障する恐れがありますので、ご使用後はお手入れを行ってください。

■ご使用になる前に

- 補聴器は聞こえを元にもどすものではなく、聴力を補う機器です。
- 使い始めは音量を小さめにして、慣れてきたら徐々に音量を調整してお使いください。
- 補聴器はお客さま専用に調整されていますので、他の人に貸したり、他の人の補聴器を装用しないでください。正しく調整されていない補聴器は効果がないばかりか、場合によっては耳を傷めたりする恐れがあります。
- 耳を治療中の方、治療をしたことがある方は主治医にご相談ください。
- 聴力の変化に伴い、補聴器の再調整が必要になる場合がございます。聴力測定を年に一度はお受けになることをお勧めします。

⚠ 注意

下記の項目に該当する場合は、補聴器を使用する前に耳鼻咽喉科医にご相談ください。

- 耳の治療中の方、耳の中や耳の後の痛みまたは炎症がある場合
- 過去 90 日以内に耳だれがあった場合
- 過去 90 日以内に突発性または進行性の聴力低下があった場合
- 過去 90 日以内に左右どちらかの耳に聴力低下があった場合
- 急性または慢性のめまいがある方

下記の項目に該当する場合は、補聴器の使用をすぐに中止し、耳鼻咽喉科医または販売店へご相談ください。

- 耳の皮膚が赤くなったり、かゆみ・湿疹等が出た場合
- 耳だれが出てきた場合
- 耳の治療が必要になった場合
- 耳の聞こえが急に悪くなったと思える場合

■目次

各部の名称…… 1～3
電池の交換方法…… 4～5
チャイルドロック（別売）…… 6
補聴器の使い方
　電源の入れ方／切り方 …… 7
　補聴器の装用方法…… 8～12
　音量の調節方法…… 13
　プログラムの切り替え方法 …… 14
　クイックシンク …… 14
プログラム設定表 …… 15
イージーフォン …… 16
リモコン（別売）
　マイパイロット …… 17

キーパイロット２ …… 18
ワイヤレスアクセサリー（別売）
マイコム …… 19
アイビュー …… 20
FM システム（別売）…… 21～23
ご使用後のお手入れ方法…… 24～27
補聴器の保管…… 28
初めてお使いになる方に …… 29
故障かと思われたときは …… 30
仕様・性能…… 31～33
アフターサービス …… 34

■各部の名称

（イヤモールドの場合）

①マイクロホン音口（マイクロホンカバー付）
（音の入口）
②プログラムスイッチ
③ボリュームコントロール
④電池ホルダー（電源の入 / 切機能付）
⑤イヤフック（音の出口）
⑥イヤモールド（別売）

電池サイズ：PR48（13）

（スリムチューブ+ドーム型耳せんの場合）

①マイクロホン音口（マイクロホンカバー付）
（音の入口）
②プログラムスイッチ
③ボリュームコントロール
④電池ホルダー（電源の入 / 切機能付）
⑤スリムチューブ（音の出口）（別売）
⑥ドーム型耳せん（別売）
⑦ストッパー

電池サイズ：PR48（13）

（スリムチューブ+スリムチップの場合）

①マイクロホン音口（マイクロホンカバー付）
（音の入口）
②プログラムスイッチ
③ボリュームコントロール
④電池ホルダー（電源の入 / 切機能付）
⑤スリムチューブ（音の出口）（別売）
⑥スリムチップ（別売）
⑦取り出し用テグス

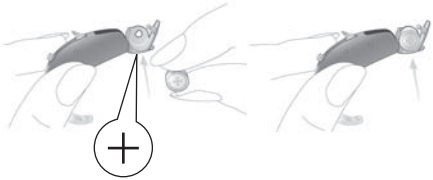
電池サイズ：PR48（13）

■電池の交換方法

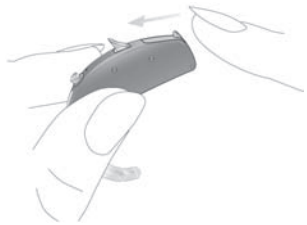
1. 新しい電池の保護シ
   をはがします。
   シールが貼ってある
   側が（+）面です。

2. 電池ホルダーを開け、使用済みの電池を
   取り出します。

3. 新しい電池を入れます。電池の（+）面
   と電池ホルダーの+マークが同じ方向に
   なるようにあわせます。



4. カチッと閉まるまで、電池ホルダーを
ゆっくり押します。



⚠注意事項

・電池ホルダーは丁寧に扱い、無理な力を加えないでください。

・電池ホルダーがうまく閉まらない場合には、電池が正しく収納されているか確認してください。電池がプラスマイナス逆向きに収納されている場合、きちんと閉まりません。

電池寿命お知らせ音
電池がなくなりかけると、お知らせ音（ピー、ピー）が鳴りますので、電池を新しいものに交換してください。（電池が使用できなくなる約 30 分前に鳴りますが、リモコンを使用されている場合は短くなったりと補聴器の使用状態によって異なります。）

■チャイルドロック（別売）

電池の誤飲などによる危険を防ぐため、電池ホルダーを開かないようにロックすることができます。

1. 補聴器を図①のように手にもち、先の尖ったペンなどをロックの穴に差し込みます。
2. 図②のように、ペン先を使って下にずらします。

3. ロックが外れたら、図③のように電池ホルダーを開けます。
4. 電池ホルダーを閉めたあと、図④のように手で抑えますとロックがかかります。

注　意

ロックされている時は、電源を入 / 切することはできません。電源を切るには、ロックを解除する必要があります。

■補聴器の使い方

電源を入れる方法：電池ホルダーを閉める

電源を切る方法：電池ホルダーを開ける

ポイント

電源を入れると、補聴器はあらかじめ調節された音量とプログラムに自動的に設定されます。

注　意

※電源を入れてから音がでるまで約 6 秒かかります。
スタートアップの遅延が設定されている場合、15 秒または 21 秒後に動作します。

装用の前に

左右を色で見分けることができます。

左耳用：
右耳用：

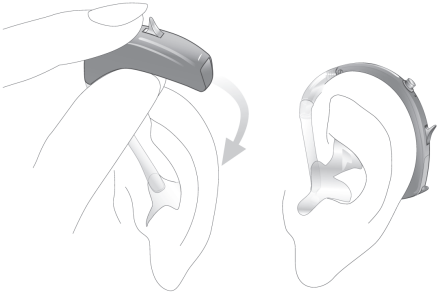
補聴器を耳に装用する方法

（イヤモールドの場合）

1. 図のようにイヤモールドを持ち、そのまま耳の穴にイヤモールドを近づけます。

2. 耳穴の後ろの耳介部分を軽く後ろに引きながら、イヤモールドを耳の中にゆっくり入れます。入りにくい場合は、販売店にご相談ください。

3. イヤモールドが完全に収まったら、補聴器本体を耳介の後ろにはめます。



補聴器を耳から外す方法

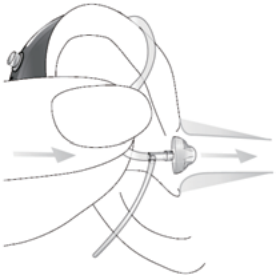
チューブではなくイヤモールドをつかみ、
ゆっくり耳から取り出します。

補聴器を耳に装用する方法

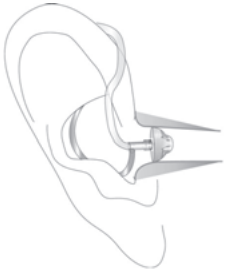
（スリムチューブの場合）

1．耳の上部に補聴器をかけます。

2. ドーム型耳せんが付いているスリムチューブを図のように持ち、外耳道にドーム型耳せんをゆっくり押し込みます。



3. スリムチューブのストッパーを図のように耳のくぼみに沿うようにはめます。スリムチューブが耳から浮かないようにをしっかりとはめてください。



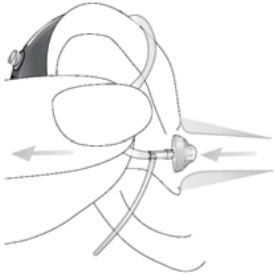
注　意

ストッパーが長い場合は、少し切り取ることも可能です。その際、固定できないほど短くしないように十分気をつけてください。

ドーム型耳せんは、スリムチューブから外れないように作られていますが、万が一耳せんが中に入ってしまった場合には、医療機関にご相談ください。

補聴器を耳から外す方法

補聴器を耳から外すには、スリムチューブの根元をつかみゆっくり耳から取り出します。



音量の調節方法

音量を上げるには：
ボリュームコントロールを上に押します。

音量を下げるには：
ボリュームコントロールを下に押します。

音量を変更するとビープ音が 1 回鳴り、最適な音量になると低いビープ音（ポッ）が 1 回鳴ります。
音量が最大または最小に達した場合は、ビープ音が 2 回（ピポッ）鳴ります。

プログラムの切り替え方法

プログラムスイッチを押すたびにプログラムが切り替わり、切り替わる時に確認音が鳴ります。
プログラム設定している場合、手動で切り替えることが可能です。

各プログラムの設定内容は次ページをご参照ください。

クイックシンク（両耳装用の場合）

左右のセルティナ アート同士が通信を行ない連動する機能です。
片方の補聴器のボリュームやプログラムを操作するだけでもう一方の補聴器も同じ動作をします。

プログラム設定表

プログラム	設　定　内　容	確認音※3
自動プログラム	サウンドフローによる自動切り換え	短いメロディー
プログラム 1		“ピ”(・)
プログラム 2		“ピピ”(・・)
プログラム 3		“ピピピ”(・・・)
プログラム 4		“ピポポ”(・・・)
イージーフォン		“ピポ”(・・)
イージー FM		“ピポ”(・・)
イージーオーディオ※1		“ピポ”(・・)
イージーブルートゥース※1		“ピポ”(・・)
ミュート※2		確認音なし

※1 マイコム使用時のみご利用いただける機能です。

※2 ミュート（無音）を選択している場合、音は聞こえませんが、電池は消耗しています。

※3 自動プログラム以外の確認音は消すことも可能です。

■イージーフォン

イージーフォンは、受話器を耳にあてると自動的に電話プログラムに切り替わる機能です。
切り替わる時、お知らせ音（ピポ）が鳴ります。
受話器を耳から離すと、元のプログラムに自動的に戻ります。

イージーフォン用の磁石を取り付ける方法

受話器をきれいにし、図のような位置に専用の磁石を付属の両面テープで貼ります。

（左耳用）　　（右耳用）

注　意

磁石で受話器の音が出る部分を覆わないようにしてください。受話器を近づけても切り替わらない場合は、磁石の位置を変更してください。

■リモコン（別売）

マイパイロット

マイパイロットは双方向通信機能をもったリモコンです。次のような機能があります。

- ボリューム操作
- プログラム切替
- 日付、時間表示
- マイパイロットの電池残量表示
- 補聴器の使用状態表示
  （ボリュームの位置、プログラム、電池残量）

詳しくはマイパイロットの取扱説明書をご覧ください。

図のようにマイパイロット画面を見ながら操作してください。

リモコン操作距離
約 50cm 以内

キーパイロット 2

キーパイロット 2 はお手元でプログラム選択や音量の調節ができるリモコンです。

：プログラムを切替
：音量を上げる
：音量を下げる
（リモコン操作距離：約 50cm 以内）

キーパイロット2を写真のような方向にしてお使いいただくと、効果的です。

注　意

飛行機内など電子機器の使用が禁止されている場所では、リモコンのご使用をご遠慮ください。

■ワイヤレスアクセサリー（別売）

マイコム

マイコムは、補聴器と携帯電話やオーディオ機器、FM システムなどを接続する機器です。

- ブルートゥース接続
  MP3 プレーヤー、携帯電話、パソコン、テレビ等のブルートゥースアダプタからの信号を受信し補聴器へ送ります。

FM

ユニバーサルタイプの
FM 受信器（MLxi, 別売）
を接続することができます。

- セルティナ アートはマイコムからの信号で、イージーオーディオ、イージーブルートゥースプログラムに切り替わります。

詳しくはマイコムの取扱説明書をご覧ください。

アイビュー

アイビューは、学校の先生や保護者の方が子どもの装用状態を確認することができる補聴器読み取り専用のアクセサリーです。読み取りボタンを 1 回押すだけで、補聴器のプログラムの状態・電池残量・ボリュームの位置がカラーディスプレイ上に表示されます。

詳しくはアイビューの取扱説明書をご覧ください。

■FM システム（別売）

雑音、距離または反響音によりコミュニケーションが困難な場合でも、FM システムは飛躍的にコミュニケーションを改善します。
FM システムは、送信機と受信機で 1 セットとなります。送信機のマイクが話しての声を拾い、FM 電波を通じて受信機に送信します。

FM 受信機

- デザイン一体型受信機の場合
  受信機：ML9i

- オーディオシューを介して接続する場合
  受信機：MLxi
  オーディオシュー：AS9-MLxS

- T コイルを利用する場合
  受信機：MyLink+（マイ・リンク・プラス）

接続例（イメージ図）

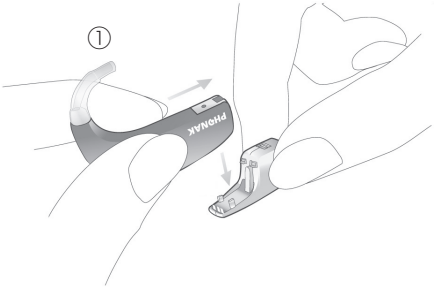
ML9i　AS9-MLxS ＋ MLxi　MyLink+

接続方法

a) 受信機、オーディオシューの取り付け

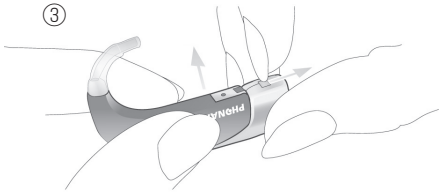
①ML9i または AS9-MLxS を押し込みスライドさせます。

②MLxi を AS9-MLxS に差し込みます。



b) 受信機、オーディオシューの取り外し

③ML9i または AS9-MLxS のつまみを押し下げながら、補聴器をスライドさせます。



FM プログラムの手動選択

- マイパイロット（別売）：FM プログラムを選択してください。
- 補聴器のプログラムスイッチ（ご利用可能な場合のみ）：お知らせ音が鳴りますので、FM プログラムになるまで押してください。
- T コイルを利用する FM 受信機の場合は、FM プログラムではなく手動で T コイルのプログラムに切り替えて使用します。

注　意

電子機器の使用が禁止されている場所（例：飛行機内など）では FM システムは使用しないでください。

■ご使用後のお手入れ方法

補聴器を長くお使いいただくために、日ごろからのお手入れをお勧めします。

1. 補聴器本体から電池を取り出します。
2. ティッシュペーパーや柔らかい布で、補聴器本体と電池についた汗や汚れを拭き取ります。
3. 電池ホルダーの中も湿気があるとさびやすいため、綿棒などで水分を拭き取ります。
4. 耳せんやイヤモールドが耳あか等でつまっている場合は、ブラシなどで取り除きます。

注　意

補聴器をお手入れする際に、家庭用洗剤（石鹸、洗剤粉等）は絶対にご使用にならないでください。

風雨天候用保護カバー

風雨天候用保護カバーは、高機能マイクを埃と湿気から保護しマイク寿命を長くするために設計されております。使用環境にもよりますが、保護カバー自体は数ヶ月単位で交換することをお勧めしております。また、汚れなどがついた場合、保護カバーは洗わずに交換してください。保護カバーなしで補聴器を使用されることはご遠慮ください。

注　意

- 風雨天候用保護カバーを擦ったり、洗ったりしないでください。音響に影響したり保護機能を失う可能性があります。
- 1台の補聴器に風雨天候用保護カバーは2枚ありますが、これは同じものです。交換するときは、2 枚同時に交換ください。
- ヘアスプレー、化粧品などによっては、保護カバーにダメージを与える可能性があります。ヘアスプレーなどをお使いの際は、補聴器を外してください。
- 補聴器を耳に装用する際やプログラムボタンを押すときに、保護カバーを触るのを避けてください。

以下のようなことが起こる場合は、お求めの販売店にお問い合わせください。

- いつもより補聴器の音が小さく聞こえる。
- 補聴器の音質が悪くなった。
- 以前よりも音の方向感がわかりにくくなった。

注　意

スリムチューブに水滴が残る危険があるため、スリムチューブとドーム型耳せんを水で洗ったり、水中に入れないようにしてください。
水滴がスリムチューブに残っていると、音がでない、または補聴器の電気部分が壊れる恐れがあります。
スリムチューブとドーム型耳せんは３ヶ月に１回程度交換してください。また、スリムチューブが硬くなったり、もろくなってきた場合はすぐに交換してください。

ドーム型耳せんは販売店でのみ交換できます。耳に装用している時にスリムチューブからドーム型耳せんを外さないでください。耳を傷つける恐れがあります。

■補聴器の保管

（乾燥ケースを使用される場合）
電池ホルダーを開けたまま補聴器を乾燥ケース
に入れて下さい。

注　意

補聴器から必ず電池を取り出してください。
補聴器から取り出した電池は乾燥ケースにいれ
ないようにしてください。

■初めてお使いになる方に

第一段階

初めは静かな家の中等で使用し、補聴器をつけることに慣れて下さい。最初は自分の声に違和感がありますが、本などを声に出して読んだりして違和感がなくなるまで練習します。練習は 10 分ほどから始めて徐々に長くしますが、疲れたらすぐ休んでください。

第二段階

静かな部屋で、身近な人と一対一で話す練習をしましょう。

第三段階

複数の身近な人と話をする練習をします。どの人が話をしているか聞き分けてみましょう。

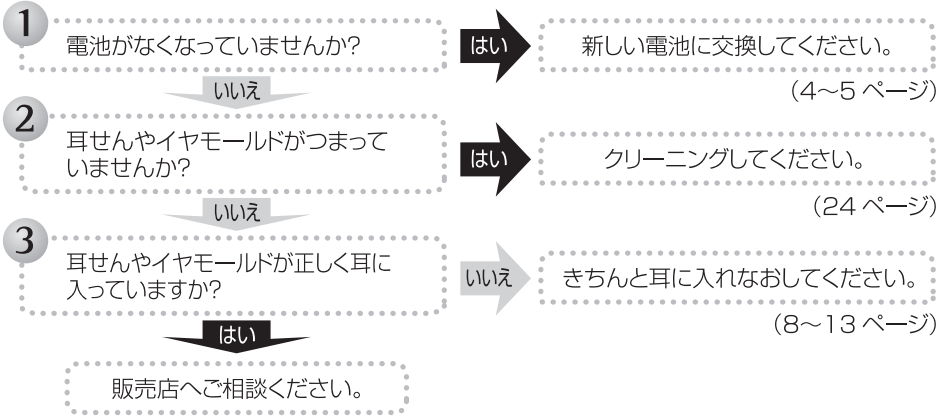
第四段階

慣れてきたら、外で聞く練習をします。

注意：補聴器の音が小さかったり、周囲の音が大きく感じたら販売店にご相談ください。補聴器の再調整が必要となります。

■故障かと思われたときは

補聴器が聞こえづらくなったときは、まず下記のようにお調べください。

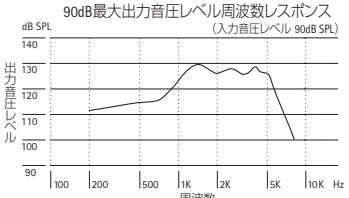


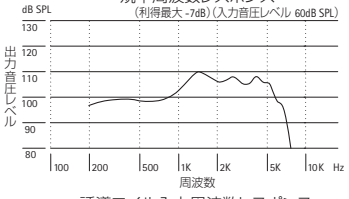
■仕様･性能（セルティナ アート M）

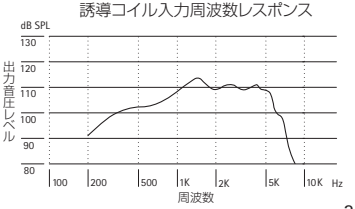
*本データは JIS C 5512:2000 の密閉形擬似耳により測定･表示してあります。

適応聴力範囲	中等度
規準周波数	1600 Hz
最大音響利得	55 dB ±5 dB
90dB 最大出力音圧レベル	129 dB ±5 dB（1600Hz）
	135 dB SPL 以下（ピーク値）
等価入力雑音レベル	30 dB SPL 以下
全高調波ひずみ	500 Hz 4.0% 以下
	800 Hz 3.0% 以下
	1600 Hz 3.0% 以下
電池の電流	1.80 mA 以下
使用電池	PR48（13）
電池寿命	155〜240時間
誘導コイルの感度	85 dB SPL ±6 dB（磁界の強さ 1 mA/m ループに対して垂直の時最大）*誘導コイルは規準値で測定
利得調整器	可変幅 ±6 dB の場合 約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合 約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dBの場合 約 2.0 dB ずつ 10 段階 可変幅 −30 dBの場合 約 2.0 dB ずつ 15 段階

*本取扱説明書に掲載された電池寿命の値は標準的設定における目安であり、補聴器の設定やご使用の状況によって異なります。







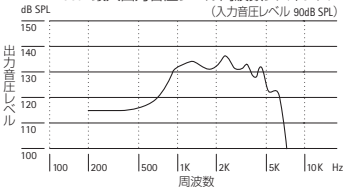
■仕様･性能（セルティナ アート P）

*本データは JIS C 5512:2000 の密閉形擬似耳により測定･表示してあります。

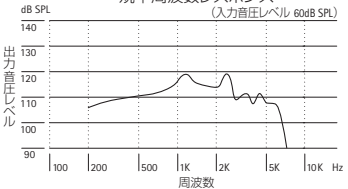
適応聴力範囲：	中等度～高度
規準周波数：	1600 Hz
最大音響利得：	60 dB ±5 dB
90dB 最大出力音圧レベル：	132 dB ±5 dB（1600Hz）
	144 dB SPL 以下（ピーク値）
等価入力雑音レベル：	30 dB SPL 以下
全高調波ひずみ：	500 Hz 4.0% 以下
	800 Hz 3.0% 以下
	1600 Hz 3.0% 以下
電池の電流：	1.80 mA 以下
使用電池：	PR48（13）
電池寿命：	140～220時間
誘導コイルの感度：	93 dB SPL ±6 dB（磁界の強さ 1 mA/m ループに対して垂直の時最大）*誘導コイルは規準値で測定
利得調整器：	可変幅 ±6 dB の場合 約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合 約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dBの場合 約 2.0 dB ずつ 10 段階 可変幅 −30 dBの場合 約 2.0 dB ずつ 15 段階

*本取扱説明書に掲載された電池寿命の値は標準的設定における目安であり、補聴器の設定やご使用の状況によって異なります。

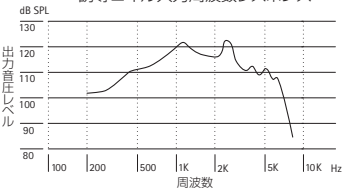
90dB最大出力音圧レベル周波数レスポンス
（入力音圧レベル 90dB SPL）



規準周波数レスポンス
（入力音圧レベル 60dB SPL）



誘導コイル入力周波数レスポンス

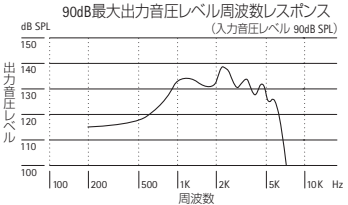


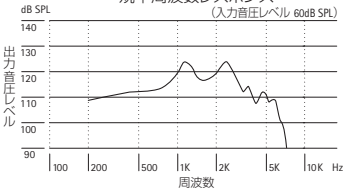
■仕様・性能（セルティナ アート SP）

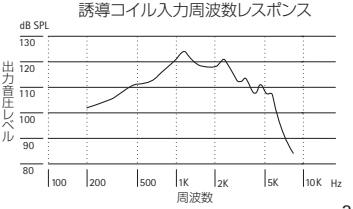
*本データは JIS C 5512:2000 の密閉形擬似耳により測定・表示してあります。

適応聴力範囲：	高度～重度
規準周波数：	1600 Hz
最大音響利得：	66 dB ±5 dB
90dB 最大出力音圧レベル：	132 dB ±5 dB（1600Hz）
	144 dB SPL 以下（ピーク値）
等価入力雑音レベル：	30 dB SPL 以下
全高調波ひずみ：	500 Hz　5.0% 以下
	800 Hz　4.0% 以下
	1600 Hz　3.0% 以下
電池の電流：	1.90 mA 以下
使用電池：	PR48（13）
電池寿命：	140～220時間
誘導コイルの感度：	100 dB SPL ±6 dB（磁界の強さ 1 mA/m ループに対して垂直の時最大）*誘導コイルは規準値で測定
利得調整器：	可変幅 ±6 dB の場合
	約 2.0 dB ずつ 3 段階
	可変幅 ±10 dB の場合
	約 2.0 dB ずつ 5 段階
	可変幅 −20 dBの場合
	約 2.0 dB ずつ 10 段階
	可変幅 −30 dBの場合
	約 2.0 dB ずつ 15 段階

*本取扱説明書に掲載された電池寿命の値は標準的設定における目安であり、補聴器の設定やご使用の状況によって異なります。







■アフターサービス

1. 保証書（別途添付）
   必ず「販売店名」、「お買い上げ日」、などの記載をお確めになり、大切に保管してください。

2. 修理について
   保証書を一緒に販売店へお持ちください。保証書に記載された内容に応じて修理いたします。

3. その他
   アフターサービスなどについてのご不明な点は、お求めの販売店までお問い合わせください。

この取扱説明書の内容は2010年10月現在のものです。各製品の仕様は予告なく変更される場合がございます。

※この補聴器は耳を保護する目的で出力 125 dB SPL 以下、利得 30 dB 以下に設定し出荷いたしております。

メモ

メモ

メモ

販売店名

製造販売業
フォナック・ジャパン株式会社

〒141-0031
東京都品川区西五反田 5-2-4 レキシントン・プラザ西五反田
TEL 0120-06-4079（お客様相談窓口） FAX 0120-23-4080
www.phonak.jp

許可番号 13B2X10021　認証番号 222AABZX00144000

029-1014-17/102010/Printed in Japan © Phonak AG All rights reserved